

国際標準化戦略に関する
総務省の取組
—知的財産推進計画2010—

平成22年12月21日

知的財産推進計画2010の取組の進捗状況について(1)

1. 今後の国際標準化の基本的な方向性を決定

- 「グローバル時代におけるICT政策に関するタスクフォーム」の下に「ICT分野に関する国際標準化戦略に関する検討チーム」を設置し、デファクト標準を含む国際標準化戦略の在り方について検討し、本年12月に最終取りまとめを実施。

(検討事項)

- ① 基本的な考え方
- ② 検討体制の在り方
- ③ 今後の取組の方向性 等

2. 官民連携の場の立ち上げ

- 本年11月までに、「官民連携の場」を順次立ち上げたところ。
 - ・デジタル・サイネージ・ユーザズフォーラム
 - ・次世代ブラウザテキストレイアウトに関する検討会
 - ・次世代ブラウザWeb and TVに関する検討会 等

3. 今後の取組予定

- コンテンツメディアに関するシステムの開発、ベトナム、マレーシア等のアジア諸国の現地企業等と連携の上、実証実験等を実施し、我が国の優位性を実証し、アジアにおける標準化の獲得、市場拡大を図る予定。

2. 知財の創出・保護と標準化の一体的推進

- ・ 官民が連携し、地域の事情にあわせてコンテンツメディアに関するシステムの開発・実証を行い、ここで策定された技術規格を国際標準化団体に提案。

3. アジア地域を中心とした共同研究開発プログラムの概要

- ・ 地域の問題解決に資するようコンテンツメディアに関するシステムの実証実験型開発を行うとともに、ここで策定された技術規格を、関係国と連携して国際標準化団体に提案。

4. アジア地域の標準化の組織的な取組

- ・ アジア諸国におけるコンテンツメディアシステムの開発・実証等を通じて、APT(アジア・太平洋電気通信共同体)において、アジア諸国と連携して共同提案を実施。

5. フォーラム標準を含む総合的な支援

- ・ 官民連携の場において、ユーザ意見等を反映した「要求仕様」の具体化、仕様策定、提案活動を支援するなど、国内外のフォーラムを含む標準化団体への活動支援を実施。

知的財産推進計画2010の取組の進捗状況について(2)

6. 国際標準化活動の専門家の育成

- ITU協会等の標準化関連団体と連携し、国際会議体験セミナー等を実施。
- 総務省のプロジェクトの実施に当たり、国際標準化が必要な事項については、関連する国際会議等への出席等を求める。

8. 産業界の意識改革

- 「グローバル時代におけるICT政策に関するタスクフォーム」や情報通信審議会「通信・放送の融合・連携環境における標準化政策に関する検討委員会」等の各種会合及び官民検討の場において、企業の経営層や実際に標準化活動を実施する者との意見交換を実施。

10. 公正な評価方法の研究・国際標準化の支援

- 要求仕様を具体化し、仕様に向けた作業において、幅広く通信事業者、放送事業者、メーカー等を交えて仕様策定及び評価を実施。

11. 規制・規格の海外発信への支援

- 国内規制の翻訳及び海外発信、及び必要に応じて技術規格の翻訳作業等を実施。
- ITU協会等の標準化団体を通じて、ITU勧告の和訳等をHPで提供。